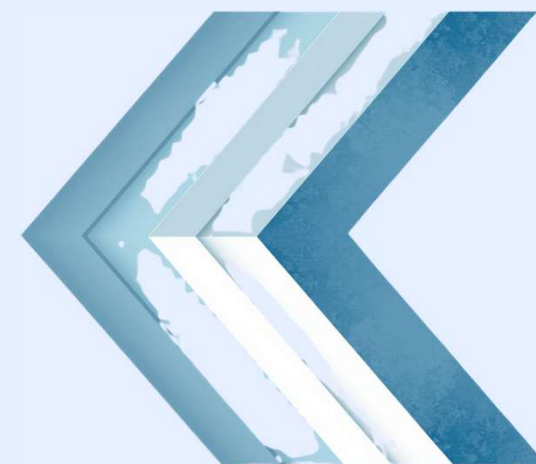


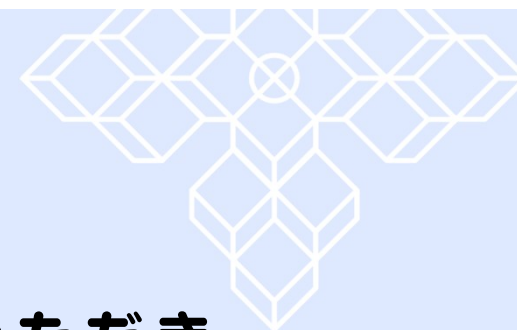


東京大学消費生活協同組合

2026年度第1四半期 組合員の皆様へのご報告

専務理事 水口智子





日頃より、東大生協のご利用・運営へのご参加をいただきありがとうございます。

- ・ 5/30に2026年度通常総代会を開催し、第1号～6号議案まで全て賛成多数で可決。
- ・ 特に第3号議案で**2026年度～2028年度中期計画を議決**。
- ・ 新理事長を迎え、新体制の理事会での運営を開始。

理事長	藤原 徹	大学教員	農学生命科学研究科	(新任)
副理事長	月脚 達彦	大学教員	総合文化研究科	(重任)
専務理事	水口 智子	生協職員		(重任)



新理事長
就任あいさつは
こちら！

2025年度決算

科目名	19年度実績	24年度実績	25年度予算	25年度実績	前年比	19年度比
供給高	7,419,467	6,080,481	6,384,630	6,217,602	6.35	-16.20
供給値引	88,246	70,426	72,190	71,618	-4.06	-18.84
純供給高	7,331,221	6,010,055	6,312,440	6,145,983	6.48	-16.17
供給剰余金	1,448,292	1,179,231	1,276,179	1,256,604	11.84	-13.24
その他事業収入計	103,786	151,413	144,567	147,988	2.79	42.59
事業総剰余金	1,552,078	1,330,644	1,420,746	1,404,592	10.81	-9.50
人件費合計	893,469	860,135	903,906	853,587	10.42	-4.46
物件費合計	631,770	602,371	616,840	616,840	10.31	-2.36
事業経費合計	1,525,239	1,462,506	1,520,746	622,872	-53.24	-59.16
事業剰余金	26,840	-131,863	-100,000	-71,868	11.11	-367.76
事業外収益	6,346	6,815	0	8,352	22.54	31.61
事業外費用	4,816	3,272	0	2,458	37.40	-48.96
経常剰余金	28,370	-128,320	-100,000	-65,973	10.59	-332.54
特別利益	19,927	20,017	0	16,485	-20.66	-17.27
特別損失	73	0	0	37	#DIV/0!	-49.32
税引前当期剰余金	48,224	-108,303	-100,000	-49,525	27.39	-202.70
経常剰余率	0.38	-2.11	-1.57	-1.06		
労働分配率	57.57	64.64	63.62	60.77		

2025年度決算の概括

学内構成員の食と住まいのニーズへの
対応に向けた仕組みの整備

経営状況について組合員への積極的な開示
組合員参加を促す組織の建て直し

赤字構造から脱却するための収益確保と費用削減

意図して行った剰余率改善と
計画外の大規模な人件費減少により経営改善

経営構造自体はまだ赤字構造

事業剰余

7,186万円

前年差+5,999万円

予算差+2,813万円

当期剰余金

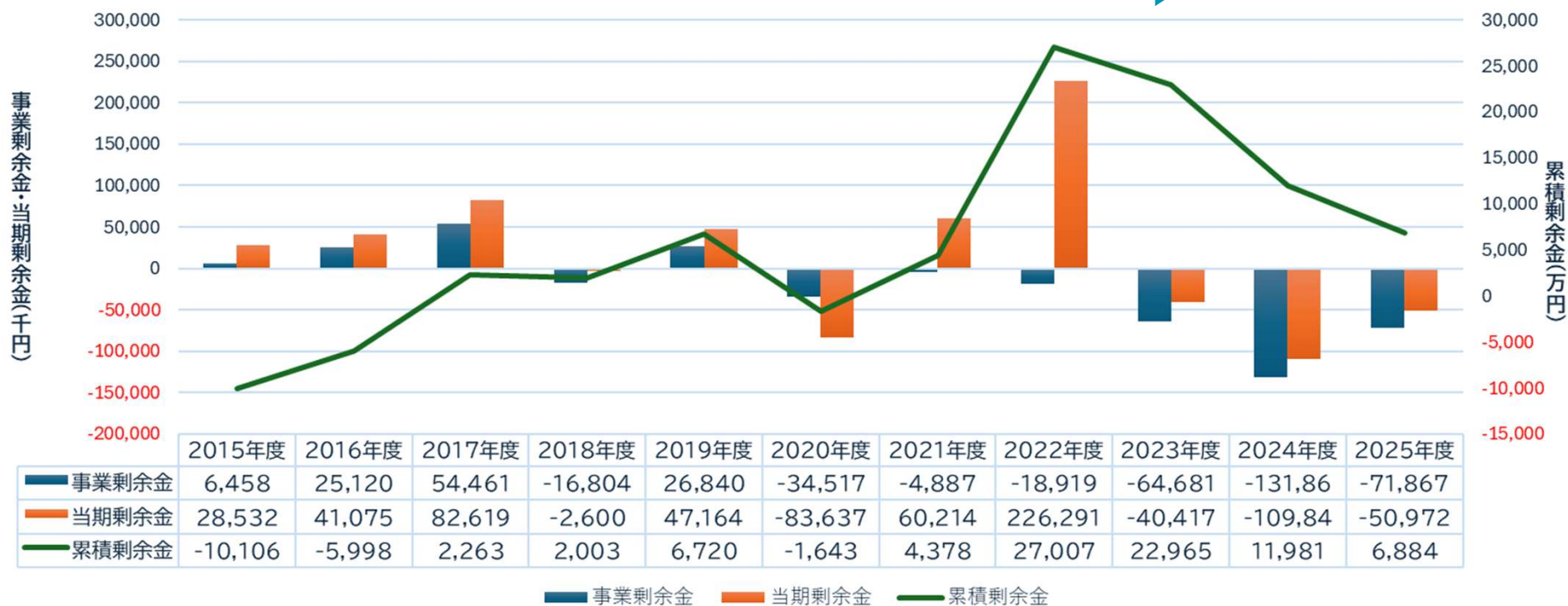
▲5,097万円

前年差+8,796万円

累積剰余金の状況

2026年度累積赤字転落の可能性は残っている。

事業剰余金と当期剰余金(単位:千円)



2026年度～2028年度中期計画

東京大学に根ざした持続可能な組織を目指します

～出資・利用・参加をひろげ、組織・事業ともに強くしなやかな東大生協へ～

- (1) 組合員基盤の拡充のために加入・参加を強める。
- (2) 2027年度収支均衡実現のために、効率化と利用伸長事業への集中を両輪で進める。

2026年度～2028年度中期計画 8つのアクションプラン

中期計画の詳細は
別途動画をアップいたします。

- ①組合員基盤の拡充
- ②利用環境改善
- ③広報・ブランディング
- ④新しい価値創造
- ⑤暮らしと学びを支える取り組み
- ⑥教育・研究を支える取り組み
- ⑦職員の育成と働き方改革
- ⑧経営の安定化

加入・参加状況様子



諸手続き日

諸手続き日にはほぼ全新生が生協・共済加入状況の確認、生協アプリ
・よく使うマネー設定の確認、共済マイページ登録を行いました。



保護者説明会 入学準備説明会

新学期コアメンバー・一般スタッフと新学期事務局を中心に企画・運営。昨年までと大きくやり方を変え、保健センター医師による講演、ブース形式での充実した商品説明等に取り組みました。述べ1,917名の参加がありました。



新入生交流会

2026年度の新入生交流会には170名が参加。生協の利用方法や組合員としての活動について情報共有が行われ、新入生の加入促進に大きく貢献しました。

大学院生、教職員への加入推進施策

大学院生・教職員を対象とした加入促進の取り組みを実施。3/1より非組合員への生協利用料收受を開始し、全店舗での加入案内を強化。加入率の向上に向けた継続的な取り組みを推進しています。

生協委員 ミーティング

キャンパス運営委員会・生協委員ミーティングを定期開催。2025年度から再開した生協委員ミーティングでは、学生委員と職員が一体となって運営課題を協議。2026年度第一四半期も活発な議論が行われ、各部門の取り組みが共有されました。



3-5月累計 損益状況

(客数:人)(千円)							
2026年5月累計	前年実績	本年予算	本年実績	前年差	前年比(%)	予算差	予算比(%)
客数	912,600	907,607	827,632	▲84,968	▲9.31	▲79,975	▲8.81
供給高	2,034,748	2,095,260	2,036,168	1,420	0.07	▲59,092	▲2.82
供給剰余	394,301	427,720	418,926	24,625	6.25	▲8,794	▲2.06
その他事業収入	47,970	48,821	52,236	4,265	8.89	3,415	6.99
事業総剰余金	442,272	476,541	471,162	28,890	6.53	▲5,379	▲1.13
人件費	203,352	212,579	204,685	1,333	0.66	▲7,894	▲3.71
物件費	151,748	149,999	145,117	▲6,630	▲4.37	▲4,882	▲3.25
事業剰余金	87,173	113,963	121,360	34,187	39.22	7,397	6.49

皆様のご理解とご利用により、
第1四半期の経営状況は前年度比で**事業剰余+3,418万円の改善**

5月累計の 利用到達点

利用者数
5月累計
827,632人

減少要因

- ・ 客数は前年比▲9.31%、予算比▲8.81%と減少。
- ・ 減少の主な要因
 - ①販売系店舗での生協利用料収受開始による非組合員利用の減少
 - ②観光客減少による食堂の非組合員利用者の減少

2026年5月	客数 累計				
分類	前年実績	本年予算	本年実績	前年増減	予算増減
購買	433,793	439,947	378,993	▲12.63	▲13.85
書籍	43,748	42,800	42,727	▲2.33	▲0.17
トラベル	2,881	3,010	4,010	39.19	33.22
食堂	432,178	421,850	401,902	▲7.01	▲4.73
<合計>	912,600	907,607	827,632	▲9.31	▲8.81

2026年5月	客数 累計				
地区	前年実績	本年予算	本年実績	前年増減	予算増減
本郷	449,909	443,237	409,957	▲8.88	▲7.51
駒場	346,532	360,970	333,837	▲3.66	▲7.52
柏	33,298	33,260	28,613	▲14.07	▲13.97
附置研	82,861	70,140	55,225	▲33.35	▲21.26
<合計>	912,600	907,607	827,632	▲9.31	▲8.81



供給高未達の主な要因分析

公費利用の減少

- ・ 23,088件供給高887,577千円（昨比▲110,347千円・▲11.1%）
- ・ 部材不足により年度末までに商品を納品できない状態が発生
- ・ 教員の方々の利用控え

本郷地区食堂利用の減少

- ・ 客数201,814人（昨年比9.28%・予算比▲5.43）、
- ・ 供給高142,517千円（昨年比▲1.2%・予算比▲2.9%）
- ・ 海外観光客の減少により本郷地区食堂の大学構成員の利用は戻ってきているものの、利用減少が発生

食品系商品利用の減少

- ・ 供給高102,027千円（昨年比▲15.3%、予算比▲20.68%）
- ・ 2026年3月からスタートした生協利用料収受の影響で他店でも購入できる商品群であるため利用が減少。
- ・ 主に本郷地区を中心に、食堂の外部利用者が減少したことで、これまで食品3分類を利用していた層が食堂利用に移行。

事業総剰余と経費の動向

供給剰余率の改善要因

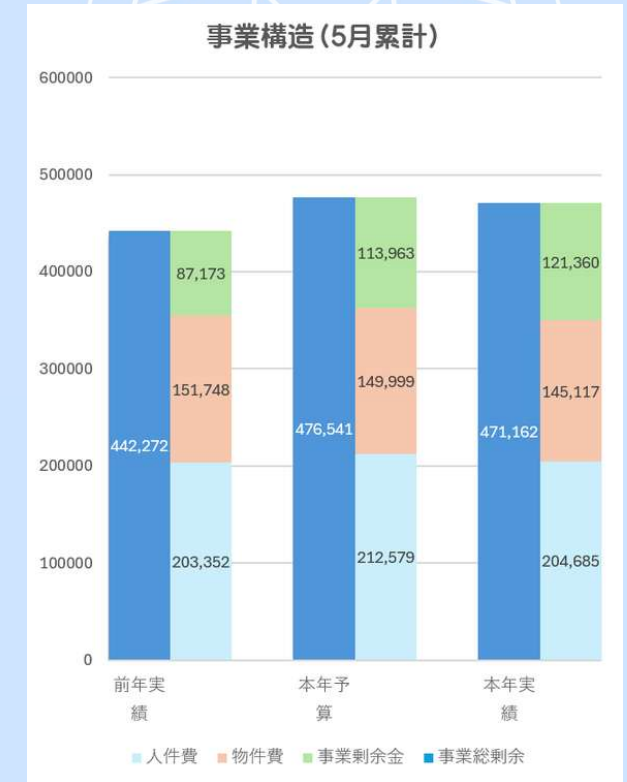
- ・供給剰余率20.57%（前年比+1.19ポイント）を達成
- ・PC講座セット販売による付加価値向上が寄与
- ・品揃え・メニュー編成の改善により収益性が向上

事業経費の内訳と推移

- ・事業経費：3.49億円（前年差▲529万円、予算比▲1,277万円）
- ・人件費：定時職員給与は特に駒場食堂の欠員が大きく全体で予算内。
正規残業時間は前年比で削減傾向、適正管理を継続。
- ・物件費：前年差・予算差ともに概ね計画内で推移

予算差の主な要因

- ・年度末公費の不調、新学期PCの予算未達、特に駒場・本郷地区の食堂の未達、食品分類の不調。
- ・各店舗で人件費管理と稼働計画の見直しが必要



2026年5月累計	前年実績	本年予算	本年実績
事業総剰余	442,272	476,541	471,162
人件費	203,352	212,579	204,685
物件費	151,748	149,999	145,117
事業剰余金	87,173	113,963	121,360

中期計画の進捗と 下期の重点課題

中期計画の進捗

アクションとその成果については概ね計画通り。
数値面では客数・供給高が計画未達。経費は特に職員の意識と働きで統制。

下期の重点課題

- ①利用減少については、アンケート分析や総代ミーティング・運営委員会を軸に
利用者目線での取り組み・対策を検討
- ②客数・利用回復に向けた基本の徹底、広報、マグネット商品の創出
- ③新財務会計システム導入に向けた研究室訪問による研究室との信頼関係づくり
- ④27新学期に向けた学生との連携強化とそれによる提案のレベルアップ
- ⑤院生・教職員加入促進のための大学とのコミュニケーション
- ⑥正規職員による主体的な店舗運営・権限移譲の推進＝安定した店舗運営・労働環境改善

ご参加お待ちしております

喜んで加入・ご利用いただける生協

組合員の皆さんの参加が欠かせません！

- ①一言カード、東大生協お問い合わせフォーム
- ②お近くの総代・生協役員へご意見を！
- ③総代・生協委員ミーティング、キャンパス運営委員会

本動画の感想や東大生協へのご意見は
こちらのお問い合わせフォームにてお寄せください。

